

上野市社会事業協会 2004

2004年7月10日 第7号
社会福祉法人上野市社会事業協会
発行者 森下達也
編集責任者 西岡時彦
〒518-0032 三重県上野市朝屋739番地の2
TEL 0595-21-5545
FAX 0595-23-6670

温故知新

―五十六年の感謝と将来への願い―

社会福祉法人 上野市社会事業協会副理事長

西岡時彦

昭和二十三年六月、上野市社会事業協会は創立されました。社会事業に熱意ある有志の方々が「相扶相愛の精神を以つて」、大戦後間もない混沌とした時代に社会事業を実現する団体を結成いたしました。協会の設立趣意書には「終戦直後の社会情勢の悪化に伴ふ生活困窮者薄俸なる児童及身障障害者等を援護する目的で在来の恩賜財団同胞援護会上野支部を発展的解消して」と記され、戦前から個別に経営されていた上野市第一幼児保育所（現・曙保育園）第二幼児保育所（現・睦保育園）の経営を引き継ぎました。昭和二十七年には社会福祉法人に改組し、以来一層の数多くの温かいご指導ご鞭撻、多大なご支援を賜わり、おかげ様で五十六年の道程を歩むことができました。

当協会は現在、児童福祉、老人福祉、障害者福祉に関する三十の施設及び関連事業を経営する福祉事業体にまで成長し



睦保育園の子どもたちと青桐

てまいりました。

時代の流れの中で、少子高齢化が急加速していますし、国民の社会意識も大きく変わってきました。家庭の育児や介護機能が変質し、低下していることも残念ながら事実です。また、障害のある人の自立、社会参加、ノーマライゼーションの進展と充実が図られなければなりません。国民生活が豊かになり、価値観が多様になってきたことと同時に福祉ニーズは多岐多様にわたってきました。この状況変化に対応しようとして制度の見直しが随時行なわれてまいりました。老人の分野では発足後五年目の「介護保険制度」、児童分野では「次世代育成支援対策推進法」、また障害者の分野では平成十五年からスタートした「支援費制度」などです。それぞれ増大する福祉ニーズに対応するためにはいいながら、未だ大きな課題を残しており、見直しの検討も進行中です。何れにしても、より良い施設福祉の拡充を着実に進めていくことが私たちの責務であり、使命です。

本年十一月をもって「伊賀市」が誕生します。明治と昭和の時代に行なわれた大合併はいずれも中央の権限を強める合併でありましたが、この度の「平成の大合併」は地方分権が最大の焦点です。「合併は厳しい。しかし合併しなければもっと厳しい」と言われる地方自治体の財政状況を如何に乗り越えていくべきなのでしょう。私たちが行なう民間福祉は奉仕の精神と倫理性を培いながら、一方では効率性経済性も求めなければなりません。新市においても地域社会における必要不可欠な価値ある存在としての施設にまで高められるよう努めてまいりたいと存じます。

戦後数十年経過して、世の中は余りにも急速にしかも大きく変容してまいりました。今後、私たちは福祉の本質を見失うことなく、当協会創立以来の「公共性」「高質の福祉」を懸命に追求しつつ、ご負託に応えたいと願っています。

第二梨ノ木園

季節めぐりと

スマイルスペース

より心地よい生活を



市内をぶらり散策（銀座ギャラリー前にて）

介護保険制度施行後五年目を迎えた今、全国的にも制度の諸問題や現場の介護の見直しを検討する動きが出てきました。より家庭的なケアをという「ユニットケア」もそのひとつです。そこで当施設でも 私たちの施設は、利用者にとって本当に心地よい所となっているだろうか？との視点から、入浴、排泄、食事などの日常生活をはじめ、お年寄りとのふれあい等について検討委員会を編成しました。今まで気づけなかったこと、また気づいていてもできなかったことは、利用者の方からその人らしい生活を送ってもらえて

いるだろうか等々、細かな意見交換を重ねました。

浴槽へ月

替わりに桜やゆずの香りを入れて

さくらの湯、ゆず

の湯と呼

び、季節を感じながら入浴していただいたり、排泄については、お一人おひとりの日常や状態を考慮して、

少しでも快適に過ごしていただけるような工夫をしています。食事につ

いては「食べる」だけでなく、「楽しみながら食事」をしていただける

ように、和やかな雰囲気をつくることを心がけています。また「ゆとりの時間」を設け、その時間と場所を

スマイルスペースと名付けました。施設内の廊下を利用して、テ

ブルや花や観葉植物などの鉢植えを置きました。天井から低く下げた電

燈があたたかい光を投影する中、音楽や茶菓子を楽しみながら、ゆっく

りと過ごしていただきます。小さなやすらぎのひと時です。

あたたかくて心地よい、より「家庭」に近い施設にしていけるよう、職員一人ひとりが心がけてまいりたいと思います。



初夏の風を感じながら、のんびり散歩（上野森林公園にて）

いただきます～す

調理の工夫でカロリーダウン

肉を炒めるとき、脂身の多い肉の場合、炒める前に熱湯に通すと、20%ものカロリーを落とすことができます。豚の角煮やドライカレーのひき肉などの炒め煮のときも、肉を下ゆでして余分な脂肪分を抜くと、かなりカロリーが減らせます。生姜焼きや照り焼きのように、肉や魚を油で焼いて味を付ける場合は、軽く火を通して一度別の容器に取り出し、フライパンを洗ってから材料を戻して味をからめると、さっぱり仕上がります。青菜など野菜の炒め物は、さっとゆでるか電子レンジで加熱してから炒めると、ごく少量の油で済みます。

また、カロリーの高い素材を、低い素材に置き換えることでも違ってきます。例えばハンバーグの場合、ひき肉100gのうち30gをおからにすることで、8%のカロリーダウンが図れ、しかも食感は普通のハンバーグとほとんど変わりません。さらに、野菜やひじきなどを加えれば食物繊維も摂ることができて、よりヘルシーです。特に体脂肪を気にされている方、一度試してみてもいいかもしれません。



きれいにしていただき ありがとうございます ～カマキリ部隊さんによる奉仕活動～

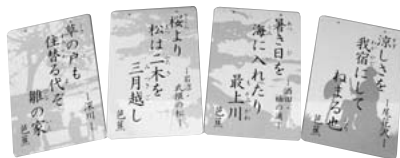
五月晴れ、梨ノ木園の周囲の土手では、あちらこちらで草刈機音が威勢よく響いています。急な傾斜の土手で、足をふんばり、たくみに草刈機を動かすのは「カマキリ部隊」の方々です。みるみるうちに、草が刈り倒され、すっきりとした土手が広がっていきます。

「カマキリ部隊」は、戸高久昭氏を隊長に、10余名からなる草刈奉仕のグループで、地域の小学校等の草刈りをはじめ、活発な奉仕活動をされています。草が勢いよく伸びる頃を見はからって、当施設にも平成12年から毎年、草刈機持参で来て下さっています。

汗にぬれた「カマキリ部隊」の皆さまの背に 本当ありがとうございます と心より感謝申し上げます。



感謝、カマキリ部隊の草刈奉仕



↑
「奥の細道」で詠まれた俳句50句をプレートにしました



⇒
芭蕉さんの歩いた道を大きな地図で、体感しています

梨ノ木園「奥の細道」をいく

「点字と触る地図をたよりに」
盲養護老人ホーム梨ノ木園

今年は松尾芭蕉生誕三六〇年にあたり、上野市をはじめ各地でさまざまな記念事業が行なわれています。梨ノ木園も今年は芭蕉さんの遺徳を偲びながら芭蕉さんの心に触れたいと思い、ささやかな行事を計画致しました。

まず、あの有名な「奥の細道」について利用者の皆さんと職員が共に学ぼうということで、みちのくの旅先で詠まれた俳句五十句をプレート板に刻み、一句ずつ当時の情景や芭蕉の思いを想像しつつ、みんなで旅をすることにしました。早速、上野点字図書館の協力を得て、触ってわかる特大地図を作成し、旅の先々に



「梨丘園」第3回開園記念日

～みんなが待っていた晴れの日～

梨丘園は5月15日で3周年を迎えました。過去2年はあいにくの雨のため、屋内のラウンジで祝い合った記念日でしたが、今年はテラスに利用者の方々の明るい顔が揃いました。空は晴れわたり、早苗の広がる水田を渡ってくる風が心地よく、会場を飾る色とりどりの輪つなぎが泳ぐようになびいています。この輪つなぎは、利用者の皆さんがこの日のためにと一生懸命作ってくださったものです。パーベキューやおにぎり、焼そばの美味しい匂いも風に乗ってひろがる中、始まりはワインで乾杯。「ええ天気になって良かったなあ」「テラスで食べると一層おいしいわ」と利用者の皆さんの声はとても嬉しそうです。上野工業高等学校の生徒の皆さんから贈られた手作りの机と椅子が、この日を和やかなしき雰囲気にしてくれました。梨丘園は4年目に向かって元気にスタートです。



外は爽やかな快晴、梨丘園は開園3周年を迎えました

は点字で地名を入れたり、道程は立体感の出る専用マジックで浮き上がらせ、利用者の皆さんに手で触れながら旅をしていただけよう工夫しました。「地図に触れたのは何年ぶりやろ」「昔、習った俳句が出てきたのかしいわ」「芭蕉さんのこと、知リたかったので良かったわ」等、感無量の声も聞かれ、ますます順調に旅立つことができました。

また、上野森林公園へ出かけ、自然に親しみながら、芭蕉の句碑に触れたり、七月には芭蕉翁顕彰会学芸員の稲澤義夫様をお迎えして「芭蕉さんの魅力について」というテーマ

で講演会を行いました。当日は梨ノ木園の開園記念日でもあり、芭蕉にちなんだ「月見の献立」の食事でお祝い会を催しました。十月三十日の「往古梨まつり」には野点コーナーを設け、芭蕉にまつわるいろいろな伊賀のお菓子でもてなす等、まだまだ計画はいっぱいあります。

「まゆはきを俵にして紅粉の花」芭蕉

地元の方にいただいた紅花の苗が育ち、花を咲かせました。廊下の壁面に貼られたみちのくの地図をたどり、今日も梨ノ木園「奥の細道」は歩み続けています。

老人デイサービスセンターなしのき 利用者が飾る

なしのきフロア



なしのきでは、毎月の催しや季節にあわせたフロア作りを、利用者の方と一緒にこなしています。フロア中央の円柱には利用者の方の作品が月ごとに貼りかえられ、季節の移り変わりを楽しんでいます。

五月は 母の日 にちなんで、利用者の方々にお母さんの思い出等をお聞きしました。「字を書くのは苦手」と言いながら短冊に書いてくださる方、話をしながら涙ぐまれる方、どの顔からも母を思う心情が伝わってくるようで、胸があつくなりました。円柱は、母の思い出の短冊でいっぱいになりました。

六月は梅雨時に似合う紫陽花とカタツムリを作ろうと、みんなで色紙や包装紙を折ったり貼ったり。一輪ずつ紫陽花が円柱で花を咲かせ、緑の葉にはカタツムリがとまりました。うつろしい梅雨の時期でも、フロアの円柱には見事な紫陽花が群れ咲いています。来月はどのような来月はどうなるのでしょうか。



みんなで作った紫陽花です

地域子育て支援センター「すくすくらんど」 10周年を迎える

近年、少子化、核家族化、地域での子育ての希薄化等々による子育てに対する不安が増加しています。そこで国は、平成六年に「エンゼルプラン」を策定しました。このことを受けて当法人では、平成七年に上野市から委託を受け、みどり保育園で『すくすくらんど』（地域子育て支援センター事業）を開始しました。平成十二年からは、曙保育園の移転改築に伴ない、専用のひまわりホールを設けて、在宅で子育てをしている保護者の子育て支援の充実をはかってきました。

『すくすくらんど』は今年度で十周年を迎え、開所式にあわせてお祝い会を行いました。約110組の親子が参加し、各関係機関の方々もお祝いにかけつけてくださいました。今岡睦之上野市長と西澤芳次伊賀児童相談所長はごあいさつの中で、子育て中の保護者にあたたかいエールを送ってくださいました。その後、グループ紹介や親子であそびやゲームを楽しみ、ふれあいを深めました。事業開始当初から上野市内の公・私立保育園（所）が連携し

<祝辞>

今岡睦之上野市長（写真）より「すくすくらんどを通して子育ての仲間をひろげてください。」、また西澤芳次伊賀児童相談所長より「子育てに悩んだときは気軽に相談してください。」とあたたかいお言葉をいただきました。



<オープニング>

曙保育園の5歳児38名によるパラバルーンの演技が披露され、メリーゴーランドやドームなどに变化する演技は一段とお祝いムードを高めてくれました。



<手あそび>

♪む～す～ん～で ひ～ら～い～て……♪お母さんの膝の上は最高。手作りの大型紙芝居、体操、そしてクマやウサギ、ワニが登場する職員劇を楽しみました。



<親子のふれあいあそび>

カラートンネルをくぐると楽しみにしていたおみやげがもらえました。



て子育て支援に取り組み、『すくすくらんど』は、毎年250組を超える親子にご利用いただいています。このように子育て支援の場を提供することは、保護者にとって、子どもの遊ぶ姿を通して、なにげないおしゃべりの中から子育てのカギを見つけたら、子育てに対する疑問や不安を話し

合えるなど、想いを共有できる場となっているようです。今後も電話相談、面接相談、訪問相談とともに、親子教室や保育園開放等の取り組みを継続し、親子がゆつくりふれあうことができ、楽しく子育てができるような支援を続けていきたいと思っています。

子育て相談 「ふれあいらんど」

心身障害児療育施設かしのみ園では、五月から子育て相談「ふれあいらんど」を開設しました。友だちとうまく遊べない、言葉の発達について気になるなどの悩みを気軽に相談したり、話し合える場として、子育て相談とあそびのひろばを設けました。

子育て相談は、電話・面接・訪問の形で受けさせていただきます。いずれも随時にご利用いただけます。特別相談日には臨床心理士で教育カウンセラーの橋本徹先生、上野総合市民病院副院長の山 征治先生、診療部長小児科医の川口寛先生が相談に応じてくださいます。

あそびのひろばでは、あそびながら発達をうながすことができる環境を整えています。「ふれあいらんど」が皆さんに活用していただけるよう、スタッフ一同内容を充実させていきたいと思っていますのでご利用下さい。



橋本徹先生による特別子育て相談

『七夕まつり』ストーリー

新しい年度がスタートして園全体が落ち着きを見せ始める頃に計画される「七夕まつり」。子どもたちは、昔から語り継がれている 織姫・彦星の伝説の世界におもいをはせたり、星空や果てしなく広がる宇宙へと夢を広げていきます。

子どもたちは例年のように、この行事に少しでも多くの人に参加してもらおうと、お家の人や遠方の祖母、小学校のお兄さんお姉さんたちへ、招待状書きをはじめました。

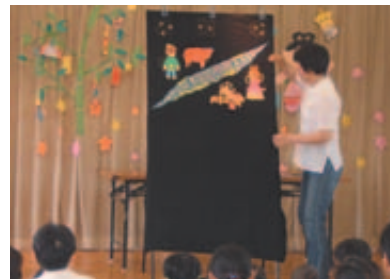
待ちに待った七夕まつりの日、第一部は、願いごとを書いた短冊や飾りをお家の人と一緒に笹に結びつけます。その笹の下で、

願いごとがかなえられますようにという思いを込めて、歌や合奏を披露しました。第二部は「金魚すくい」「的あて」「輪投げ」「ヨーヨーつり」など、家族そろってのお楽しみコーナーの巡りです。その後は、古山保育園のみのお楽しみ会、地域のボランティアの方々による絵本の読み聞かせやパネルシアター、



“願いごとがかないますように” 思いを込めて飾りつけ

大型紙芝居等による「おはなしの会」が催されました。参加者は、ボランティアの方々



ボランティアの方によるアイディアいっぱいの「おはなしの会」

誰でも利用できる「一時保育」土曜日の一日利用が可能になりました

【対 象】

- ・ 週2～3日働きたいとき
- ・ 病気や事故で保育が必要なとき
- ・ 家族の看病などで、保育が必要なとき
- ・ 急な用事ができたとき
- ・ 研修会などに参加したいとき
- ・ その他一時的に保育を必要とするとき



《ピッコロ》

曙保育園

上野市徳居町3272-2
TEL (0595) 21-2222
FAX (0595) 21-2222

《きらら》

みどり第二保育園

上野市緑ヶ丘本町1681-2
TEL (0595) 23-5071
FAX (0595) 23-3699

子どもの健康を守るために —嘱託医にご指導をいただいて—

嘱託医（内科医・歯科医）との連携は、子どもたちの健やかな成長発達を保障するために、欠かすことができません。保育園は嘱託医に、学校保健法に基づく入園前の健康診断と、年2回の定期健康診断を実施していただいております。その他、体調のよくない子どもの出現時、アトピー性皮膚炎が疑われる時、また感染症や予防接種等々、いわゆる小児科学的・小児保健学的視点からの指導や指示をいただきます。さらには保育園が行なう

育児講演会に講師として出向いていただくこともあります。保護者にとっては、嘱託医には子どもの入園前の健康診断からお世話になっているので、講演内容も親しみを持って聴いていただくことができます。また、子育てに対する不安を取り除いてもらえるという大きな役割も果たしていただいています。

このように、保育園は嘱託医に保健や病気に関する様々な相談にのっていただくことができ、またアドバイスや情報をたくさんいただくことができます。今後も嘱託医との連携をさらに深め、嘱託医からいただいた情報を、園だよりや掲示板等でのつど保護者に知らせ、子どもたちの健康管理に活かしていきたいと思っています。



嘱託医の平井誠一医師の検診
(ゆめが丘保育所)



育児講演をする水谷真千子医師
(古山保育園)



サーカステント前にて記念撮影(名張)

かしの木ひろば
スーパースーカスを見て
ハラハラドキドキ

五月二十日、二十一日の両日、名張市制五十周年事業として開催されたチャイニーズスーパースーカスに行ってきました。サーカスを見るのは初めてという利用者の方も多く、事前からサーカスの話題で盛り上がり、皆さんとても楽しみにされていました。まずはレストランで昼食、それぞれ好きな料理を召し上がっていただき、その後サーカス会場へ向かいました。

サーカスの団員はほとんどが中国の方で編成され、メインのアクロバットサイクルショーや、空中ブランコなど、息をのむ演技にハラハラドキドキ。また、唯一の日本人団員によるワンちゃんショーはとてかわいらしく、賢

伊賀広域在宅障害者 生活支援センターかしの木より

当センターでは、身体に障害がある方はもちろん、知的障害、精神障害がある方のご相談も増えており、各関係機関と連携を取りながらさまざまな支援を行なっています。



関係機関の方々で行なうカンファレンス

お問い合わせ：TEL・FAX (0595) 22-2288
(夜間FAX) 21-2745

いワンちゃん
の動きに
感動しまし
た。ショー
はどれもす
ばらしく時
間の経つの
も忘れるほ
どでした。

当日は台
風の影響も
あり、お天
気が心配さ
れましたが、無事に充実した時間を
過ごすことができました。今回のサ
ーカスを通し、各自さまざまな感動
を得ることができたと思います。



レストランで食事の後、サーカス見物へ

上野市史〔民俗編〕の 音訳を終えて!!

～ボランティアより投稿～

名張音訳グループ「こだま」

倉橋 陽子

名張市民の私が、上野市史を音訳することになり、下読みを始めて「あら大変!」。まず地元の人ならご存知の地名や、山や川の読みから調べることになり調査項目は増えるばかり。図書館やインターネットも使い、最後は上野点字図書館の担当職員にSOS。上・下巻それぞれ、調査に約3カ月、音訳に約5カ月要し、上巻20巻30時間、下巻22巻33時間を費やしました。私、子ども時代は名古屋市街で育ったので、上野の珍しい風習・



完成した音訳テープ42巻をデジタル化します

風俗そして古文書の読みと、とても興味深く音訳させていただいた2年半でした。調査や校正をしてくださった皆さま、そしてテープを聞いてくださった方、ありがとうございました。

おめでとうございませう!!
日盲社協 奉仕者表彰

去る、五月十三日・十四日の両日、名古屋で開催された第五十二回全国盲人福祉施設大会において、上野点字図書館音訳ボランティア岸森千賀子さんと鶴野裕子さんが奉仕者表彰を受賞されました。

岸森さんは、音訳奉仕者養成講習会を修了され、デジタル録音図書デイジー図書製作を主体として九タイトル九巻、音訳図書の校正三十一タイトル一九二巻、テープ雑誌や広報誌の音訳、さらに梨の木園での対面朗読などご活躍いただいております。



表彰を受けられた鶴野裕子さん(左)と岸森千賀子さん(右)

鶴野さんは録音図書校正ボランティア養成講習会を修了され、これまで五十一タイトル三五五巻の校正をいただきました。長年にわたり校正専門の奉仕者としてご活躍いただいております。

お二人には心からお祝いを申し上げますとともに、多年のご奉仕に深く感謝申し上げます。

お知らせひろば

ご支援ご協力いただいている方々
(平成十六年三月～平成十六年六月)

《個人》
—敬称略・五十音順—

東 弘作、井岡 昭、石原 京子、
泉 二郎、伊藤千津子、稲垣真希子、
稲澤 義夫、稲森 密浩、猪木 千里、
上田 順子、太田 久子、岡田 茂樹、
岡森 明彦、岡森眞理子、小川 秀貴、
奥田 英夫、奥田やえ子、川口 寛、
川浪 玲子、櫻 悦子、小林ふじ智、
阪本 仁彦、杉本ちえみ、朱雀 文雄、
曾我 宏三、高沢 博司、竹島 和美、
田中 しえ、田中 澄夫、田中三紀代、
田中美代子、玉川 弘毅、玉台 正和、
戸高 久昭、豊田 実、中尾 一正、
中原 尚美、長町 尚格、中森 勇、
中森 利秋、西田 誠、西出 成子、
橋本 敏、長谷川かよ子、平井 弘郎、
福永 保、福森健一郎、藤井 恵美、
藤森 三重、藤原 清次、古川 節郎、
別所 法山、保田 健一、町野富小枝、
丸井 規義、村手 宏子、桃井 隆子、
森下 弘子、森田 満枝、森永 弘昌、
森野 真治、山岡 康則、山口 徳平、
山口 芳一、山崎 征治、山本 浜子、
吉川 成宣、吉永 弘、米井 照明

《団体》
—敬称略・順不同—

ボランティアグループあゆみ、
ボランティアグループミックスジュース、
上野点訳奉仕グループあい、
名張点訳奉仕グループあかり、
上野音訳グループしのび、
名張音訳グループこだま、絵手紙いろは、
声のポスト友の会、長田小学校、
西小学校、三田小学校、

岡波看護専門学校、大滝地区、桂地区、
白樫地区、治田地区、花之木地区、
古山地区、予野地区、小田町公民館、
小田町自治会、長田公民館、長田自治会、
花之木公民館、花之木児童福祉会、
古山市民センター、
古山地区民生児童委員、三田公民館、
三田地区自治連絡協議会、
上野ロータリークラブ、
上野東ロータリークラブ、
芭蕉翁記念館、伊賀北部消防組合、
上野市更生保護婦人会、
上野市視覚障害者福祉会、
チャリティー寄席実行委員会、
カマキリ部隊、大阪つくし会、
朝屋カラオケ愛好会、上野市仏教会、
射手神社、黒住教上野中教会所、西蓮寺、
日蓮宗法音寺上野支院安立寺、平井神社、
伊賀北部農協長田ふれあい店、
伊賀北部農協古山ふれあい店、丸尚農産、
小川モーターズ、奥田理容店

ボランティア募集

梨ノ木園、第二梨ノ木園、梨丘
園では、介護ボランティアを募集
しています。お年寄りや障害をお
もちの方々との会話、あるいは散
歩や外出の支援など、お手伝いを
お願い致します。左記までお気軽
にご連絡下さい。

担当 堀本行生(主任生活相談員)
電話 ○五九五一二四—三〇三〇
(第二梨ノ木園)

平成15年度 当法人の決算諸表 (公益事業会計含む)

資金収支計算書 (円)

勘定科目	決算額
經常活動による収入計	2,096,939,913
經常活動による支出計	1,937,683,504
經常活動資金収支差額	159,256,409
施設整備等による収入計	10,200,000
施設整備等による支出計	62,440,914
施設整備等資金収支差額	-52,240,914
財務活動による収入計	67,393,407
財務活動による支出計	169,092,000
財務活動資金収支差額	-101,698,593
当期資金収支差額合計	5,316,902
前期末支払資金残高	83,081,932
当期末支払資金残高	88,398,834

事業活動収支計算書 (円)

勘定科目	決算額
事業活動収入計	2,104,670,909
事業活動支出計	1,979,249,489
事業活動収支差額	125,421,420
事業活動外収入計	80,197,499
事業活動外支出計	80,550,994
事業活動外収支差額	-353,495
經常収支差額	125,067,925
特別収入計	10,200,000
特別支出計	2,334,212
特別収支差額	7,865,788
当期活動収支差額	132,933,713
前期繰越活動収支差額	656,019,801
当期末繰越活動収支差額	788,953,514
その他の積立金取崩額	54,782,407
その他の積立金積立額	149,600,000
次期繰越活動収支差額	694,135,921

貸借対照表 (円)

資産の部	
流動資産	289,361,171
固定資産	2,797,623,392
資産の部合計	3,086,984,563
負債の部	
流動負債	200,962,337
固定負債	215,136,892
負債の部合計	416,099,229
純資産の部	
基本金	112,354,259
国庫補助金等特別積立金	1,400,742,905
その他の積立金	463,652,249
次期繰越活動収支差額	694,135,921
純資産の部合計	2,670,885,334
負債及び純資産の部合計	3,086,984,563

編集後記

平成15年度の事業報告及び決算報告
を掲載させていただくことが出来まし
た。厳しい社会情勢の中、こうした報
告が出来ましたのも、当法人をお支え
いただいた皆様方のおかげと心から感
謝いたしております。

ところで、いよいよ梅雨明けの季節。
梅雨の晴れ間に大きくかかる虹や、銀
色の飛行機雲、色とりどりの紫陽花や
にぎやかな蛙の声、青々と広がる稲田
を渡る風もさわやか、伊賀盆地は自然
がいっぱいです。そんな中で思いきり
深呼吸をしながらがんばりますので、次号
もご期待下さい。(編集子)

上野点字図書館のボランティアの方々が
製作された図書等 H16 2 / 1 ~ 5 / 31

グループ「あい」(点訳)

点訳図書 一タイトル六冊
製本 一タイトル四冊
点字触読指導・教科書の点訳

グループ「あかり」(点訳)

点訳図書 六タイトル二十三冊
教科書・参考書等の点訳
名張市広報の点訳

グループ「しのび」(音訳)

音訳図書 九タイトル四十七巻
CD図書 十一タイトル

上野市広報の音訳

大山田村広報の音訳

中日新聞コラムの音訳

梨ノ木園・第二梨ノ木園読書会

グループ「こだま」(音訳)
音訳図書 九タイトル四十一巻
CD図書 五タイトル
中日新聞コラムの音訳

『伊賀』を撮る



「天然記念物・予野八重桜」
藤岡和子（予野保育園）



「風物詩・手作り水車」
松田晴美（古山保育園）



「高倉神社の散歩道」
和田イヨ子（第二梨ノ木園）



「雨上がりの芭蕉像」
松生泰子（曙保育園）



「280年の歴史をきざむ町井家住宅」
竹内佐千子（ゆめが丘保育所）



「梅雨の晴れ間に」
大島亜由美（老人デイサービスセンターなしのき）



「初夏の余野公園」
前川ちえ子（府中保育園）



「芭蕉の森、今年はじめての紫陽花」
谷 直也（上野点字図書館）



1	盲養護老人ホーム 梨ノ木園（定員）70人
2	特別養護老人ホーム 第二梨ノ木園 50人
3	老人ショートステイ 20人
4	老人デイサービスセンター なしのき 25人
5	在宅介護支援センター なしのき
6	梨ノ木診療所
7	曙保育園 180人
8	睦保育園 90人
9	三田保育園 60人
10	中瀬城東保育園 115人
11	友生保育園 75人
12	花之本保育園 60人
13	予野保育園 45人
14	長田保育園 45人
15	古山保育園 45人
16	みどり保育園 150人
17	心身障害児療育施設 かしのみ園
18	ひかり保育園 120人
19	みどり第二保育園 120人
20	府中保育園 90人
21	ゆめが丘保育所 180人
22	上野点字図書館
23	上野市盲人ホーム
24	指定身体障害者サービス事業所 かしのみひろば 25人
25	伊賀広域在宅障害者生活支援センター かしのみ
26	身体障害者療護施設 梨丘園 20人
27	児童クラブ フレンズうえの
28	児童クラブ キッズうえの
29	児童クラブ ウイングうえの
30	児童クラブ レインボーうえの
31	法人本部事務局